

## 第12回佐野ウォークラリー

6月5日、市役所を発着点として、ウォークラリーが開催されました。距離ごとに設定された3つのコースを62組、268人の家族連れなどが参加。各コースで設けられたチェックポイントで課題などに取り組みながら、最後は手をつないでゴール。家族連れや友だち同士など各チームが声を掛け合い、楽しそうに課題に取り組む様子が見られました。

参加した方は「佐野市のまちなかをはじめて歩き、いろいろな発見がありました」などと話していました。



## 「SBIクリケットカップ」が佐野市で開催

6月11日、渡良瀬緑地のグラウンドでSBIカップが開催され、都内在住のインドの方々加盟する16チーム・約250人の選手が参加し、熱戦が繰り広げられました。

この大会は市や市スポーツツーリズム協会、NPO法人・日本クリケット協会が誘致したもので、在日インド大使館関係者も応援に駆け付けるなど、多くの方が佐野市を訪れ、試合の合間にはいもフライなどを楽しんでいました。



## スポーツ立市講演会「スポーツはまちを変える」

6月16日、市文化会館でスポーツジャーナリスト・二宮清純さんを講師としたスポーツ立市講演会が開催され、1642名もの人が集まりました。

二宮さんは「地域のスポーツクラブをつくることで、これまで日本になかった世代間を貫く縦軸ができ、一体感を持ったまちに変わっていきます。ぜひ皆さんでスポーツを楽しんでください」と講演されました。



スポーツジャーナリスト・二宮清純さん



## 日本の伝統継承

去る5月27日～29日の3日間、佐野市下彦間町にある大松寺別院で「日本の美まるごと展」が開催されました。

この展覧会の開催にあたり、「プロジェクトS」が立ち上がりました。このSは佐野市のS、サポートのS、そして主催者である佐野市出身の書道家・塩島さおりさんのSから取り、名付けられたそうです。

展覧会では日本の伝統を誇る「染め織り」「鋳物」「正藍染」「陶芸」「書道」の5つの分野のそれぞれの名工の力作が展示され、訪れた方の目を楽ませていました。

主催者である塩島さんは「今回が初めてのこの企画によって、たくさんの若い方にも素晴らしい日本の伝統に触れるとともに、知ってもらいたい」と話していました。

(市民記者・葛貫郁子)



## 佐野市民病院講座100回記念特別講演会

市民病院市民講座の開催が100回を超えたことを記念し、5月21日、佐野市文化会館で、前東京大学救急救命部教授の矢作直樹医師をお招きし、特別講演会を開催しました。

矢作医師は「臨床医が考える我が国のかたち」をテーマとして、医師としての視点を通しての日本論などを話してくれました。

市民病院では勤務医などが講師となって、身近な話題をテーマとした市民講座を開催しており、広報さの「健康」の欄で募集しています。

どなたでも参加できる講座ですので、テーマをご確認のうえ、ぜひご参加ください。



## 第11回佐野市消防操法大会

6月5日、田沼グリーンスポーツセンターで「第11回佐野市消防操法大会」が行われました。

市内全31分団から、5人1組の「ポンプ自動車の部」と4人1組の「小型動力ポンプの部」に、各6チーム計12チームが出場し、ポンプ自動車の部では葛生中町などの第24分団第1班、小型動力ポンプの部では飛駒町などの第21分団第3班が優勝しました。優勝した2チームは、7月30日に宇都宮市で行われる「第42回栃木県消防操法大会」に出場します。



葛生中町などの第24分団第1班



飛駒町などの第21分団第3班

